

東アジア首脳会議環境大臣会合
第2回環境的に持続可能な都市に関するハイレベルセミナー

小林環境省上席参与 ご挨拶

●イントロダクション

浜中 I G E S 理事長、北橋北九州市長
及び御出席の各国参加者の皆様、

本日、東アジア首脳会議環境大臣会合 (East Asia Summit Environment Ministers Meeting) の枠組みにおいて、「第2回環境的に持続可能な都市に関するハイレベルセミナー」が、ここ北九州市で開催されることの重要性を高く評価し、心より喜ばしく思います。

また、日本国政府を代表して、この意義深いセミナーの場において皆様に御挨拶できることを大変光栄に存じます。

また、本セミナーを日本政府とともに共催する、オーストラリア政府、カンボジア政府、マレーシア政府及びタ

イ政府の御尽力に感謝いたします。さらに、本セミナーの開催地である北九州市の協力を最大限の敬意を表します。

●本セミナー開催の経緯

この東アジア地域は、近年、急速な工業化や人口増加、そして都市の成長がめざましく、経済的にも社会的にも、そして環境的にも大きく変化をしております。

このような急速な都市化は、環境的にも経済的にも「持続可能」とは呼べない状況を引き起こしています。都市は、災害を防ぎ、衛生を守り、そして地域の環境を保全すべきものです。「環境的に持続可能な都市（ESC）」の構築は、本地域に暮らす我々にとって最重要課題であります。

2008年10月、ベトナム・ハノイで開催された第1回東アジア首脳会議環境大臣会合では、協力の優先分野と

して「環境的に持続可能な都市」が合意されました。

本セミナーは、この環境大臣会合合意を受けた活動の一環として、2010年3月、インドネシアで開催されたハイレベルセミナーに続く、第2回目の会合であります。第1回のセミナーには私が出席しました。

●セミナーの目的

近年、経済成長や人口増加がとりわけ著しい東アジア地域において、ESCの取組を促進するため、今回のセミナーには以下の3つの重要な意義があると考えます。

第一に、ESCに関する国レベルでの取組や都市レベルでの活動など、各国、各都市で蓄積されつつあるベストプラクティスの共有を進めること。

第二に、各国、各都市の関係者に加え、国際機関、援助機関、研究機関、NGO等も含んだ多様なステークホ

ルダー間の連携を促進すること。

そして最後に、ESC を促進する地域横断的な活動や枠組みをレビューし、それらを強化するための共通認識の醸成を図るとともに、各国における ESC モデル都市プログラムを推進していくことでもあります。

●ESC に対する日本の支援

私は今回のハイレベルセミナーを始めとするあらゆる機会を活かして、環境的に持続可能な都市に向け、都市の役割というものを再確認し、国レベルや地域的な取組を考えていく必要があると考えています。「環境的に持続可能な都市」に向けた我が国の取り組みについては、このあとお話しさせていただきたいと思います。

●結語

最後に、我々現在の世代は、東アジアにおいて、経済発展による恩恵を享受しつつ、次の世代に対しても美し

い環境を維持し、持続可能な社会を構築していかななくてはなりません。本日のセミナーが、このための域内協力をさらに推進・強化する機会となることを祈念致します。本セミナーが実り多い成果を挙げるよう、皆様方の建設的な参画をお願い致します。

御清聴、ありがとうございました。